

明心寶鑑とは？

韓国の高麗忠烈王の時、芸文館提学になった秋適が中国古典で先賢たちの金言・名句を集めて作った青少年の修身書。20編が収録されている。主に漢文を学び始める時《千字文》を習った後《童蒙先習》と一緒に基礎過程教材として使われた。内容は経書・史書・諸子・詩文集で抜粋したもので、継善篇・天命篇などとなっていたが、後に増補篇・孝行篇続・廉義篇・勸学篇を増補したこともあって八反歌1編を補強した増補版もある。

＜明心＞とは明倫・明道と一緒に心を明るくするという意味であり、＜寶鑑＞は宝物のような鏡として教本になるという意味だ。2冊1本。木版本と石版本など10余種がある。

従って、その内容も人々の正しい心性を正立させるための人格陶冶の側面に重点を置いているし、善行に対する勸奨と悪に対する警戒、そして人間内面に対する省察の意味を身近な警句を通じて伝えている。

ここでは'明心宝鑑'のこのようなご先祖の意味を引き継いで、礼儀と道徳がますます崩壊されて行く現代社会を生きて行く現代人たちに正しい言行と生きる姿勢を確立させることにお手助けになるためである。



＜内容＞



＜表紙＞

本文では漢文・韓国語・日本語の順に訳してあります。